

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業			契約事務		担当課	契約検査課	担当係	契約係	管理番号	2912	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり		根拠法令 個別計画等	・ 深谷市契約規則 ・ 深谷市建設工事等一般競争入札（事後審査型）要綱 ・ 深谷市公共工事等電子入札運用基準ほか					
	小項目	3	行財政運営の推進								
	主要プロジェクト	0	(未使用)								
事業概要			入札契約事務に係る透明性・公平性等の向上のため、入札契約制度を構築し、適正な入札契約体制を整え実施する。また、埼玉県を中心とした電子入札共同システムを利用することで効率的な入札契約事務を実施する。								
目的 ※何のために			入札契約事務による予算の適正な執行								
対象 ※誰・何を対象に			市が締結する売買、賃借、請負、その他の契約案件								
手段 ※どのように			電子入札による一般競争入札の実施								
成果 ※何を求めるか			透明性・公平性を確保し、効率的な契約を締結								
執行体制			<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を 構成する 予算事業			区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
			一般会計	2	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	契約事務費	2, 147, 368
本事業の 主な業務			・ 入札制度の整備・運営				・ 工事請負、業務委託、物品売買、レンタル・リース契約				
			・ 入札契約審査委員会の運営				・ 長期継続契約制度の運営				
			・ 一般競争入札及び指名競争入札の実施				・ 小規模修繕契約希望者登録制度の運営				
			・ 最低制限価格制度及び低入札価格調査制度の運用				・ 随意契約の指導				
			・ 総合評価落札方式の運用				・ 入札・契約情報の公表				
			・ 埼玉県電子入札共同システムの運用				・ 入札参加停止等の措置				

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		電子入札システム物品機能導入					
事業費	予算（現額）	3, 182, 000	4, 807, 000	4, 041, 000	4, 317, 000	2, 484, 000	3, 734, 000
	決算額	2, 522, 769	3, 849, 769	3, 102, 914	3, 440, 031	2, 147, 368	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	2, 522, 769	3, 849, 769	3, 102, 914	2, 147, 368	3, 734, 000
人件費	従事職員数（人）	2. 50	2. 50	2. 50	3. 30	3. 30	3. 20
	人件費相当試算※	19, 447, 500	19, 455, 000	19, 652, 500	26, 848, 800	25, 614, 320	26, 020, 314
総事業費試算		21, 970, 269	23, 304, 769	22, 755, 414	30, 288, 831	27, 761, 688	29, 754, 314

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
活動指標 1	実績値の算出式									
	契約検査課引継案件数	目標値	件							
		実績値		381	379	327	321	307	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			件数は意図的に定められないため、目標値を定めることができない。/実績値						
活動指標 2	実績値の算出式									
	電子入札件数	目標値	件							
		実績値		350	379	327	321	307	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			件数は意図的に定められないため、目標値を定めることができない。 / 実績値						
活動指標 3	実績値の算出式									
	契約締結件数	目標値	件							
		実績値		355	346	307	305	292	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			件数は意図的に定められないため、目標値を定めることができない。 / 実績値						
成果指標 1	実績値の算出式									
	電子入札実施割合	目標値	%	100	100	100	100	100	0	
		実績値		91.86	100	100	100	100	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			契約引継案件はすべて電子入札を執行するため目標値は100%で取り組む。 / 電子入札件数÷引継件数						
成果指標 2	実績値の算出式									
	入札中止・契約解除件数	目標値	件	0	0	0	0	0		
		実績値		1	0	0	2	2	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			件数が少ない事が適正な契約事務に繋がるため、目標値は0件で取り組む。 / 実績値						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	前年度及び前々年度から比較すると、引継ぎ案件及び契約締結件数は減少傾向にあるが、これは発注担当課における予算措置や計画に左右されるものである。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	入札中止・契約解除案件は2件発生したが、この件数は契約締結件数全体から見ると些少であり、概ね目標を達成したと言える。また電子入札実施割合については目標値である100%を達成できた。
			評価者 契約係長 新井 創

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	契約検査課で実施する入札契約事務は、年間スケジュールに基づきすべて電子入札システムを活用し、実施したことにより、発注者及び受注者の両者にとって入札契約事務の効率化が図られた。
			評価者 契約係長 新井 創

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	担当課で実施している委託業務の契約締結案件について、試行的に契約検査課へ引継ぎ電子入札で実施し、課題の抽出とその検討、所管課との調整を行いながら入札契約窓口の一元化を図るとともに、市全体の入札契約事務の適正化・効率化を図る。また、入札契約制度を改正を行った入札案件については、その入札結果の分析・検証を行う。
達成状況及び その効果	引継ぎ案件の拡大に向け、小学校遊具・体育器具点検業務委託を含む7件を試行的に電子入札を実施し問題なく契約締結ができた。その上で拡大に伴う全体件数を把握し、引継ぎ案件拡大に向け準備を整えることができた。一方で入札契約制度改正を行った案件については、低入札調査対象案件が2, 5倍増加したが、予定価格の8割以上の応札案件については事情聴取による確認を省略することにより事務の効率化に寄与できた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	契約事務	担当課	契約検査課	担当係	契約係	管理番号	2912
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>入札契約手続きの効率化、一元化を図るため、業務委託における引継ぎ案件の拡大や低入札価格調査審査委員会における付議案件の見直しなどを実施することができた。今後も試行的に導入している制度についての分析・検証を実施し、その結果に応じた見直しを行っていく。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	契約検査課長 飯野 正男				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

